(19)日本国特許庁 (JP)

8

Þ 噩 特罕公 数分

(11)特許出限公開番号

(43)公期日 平成9年(1997)10月7日

特開平9-263015

(51) Int CI. B41J 11/48 超別記事 庁内整理番号 B41J 11/48 技術表示箇所

(全 8 頁)

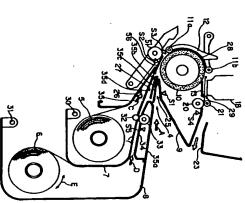
放射型で放く		,	
(74)代型人 弁理士 一徳 和彦	(74)代理人		
了株式会社内			
東京都三鷹市下連省6丁目3番3号 コピ			
(A) 77、 三四	(72) 発明者		
<b>ア株式会社内</b>			
東京都三鷹市下泊省6丁目3番3号 コピ			
蘇村 建夫	(72) 発明者		
<b>了株式会社内</b>			
定点将三編市下泊省6丁目3番3号 コピ			
<b>苏马 卷一</b>	(72) 発明者		
東京都三盧市下連街6丁目3番3号	,	平成8年(1996)3月29日	(22)出版日
コピア株式会社			
000001382	(71)出版人 000001362	<b>特</b> 原平8-75594	(21)出費母号

## (54) 【発明の名称】 國傑形成装置

(57) [烟巻]

【課題】記録紙の種類が頻繁に変わる場合であっても、

ロール紙5(またはロール紙6)を個別撥送路26(ま たは個別概送路27)に退避させる。 使い勝手の良い画像形成装置を提供する。 【解決手段】 センサS1によるスシード概を検知した、



## BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

**記シート紙及び複数のローラ紙を選択的に搬送して回復** 数のロール紙のいずれもが概認される共通概認路とを有 無搬送方向下流側につながり、前記シート無及び前記棋 低個別撤送路及び複数のロール紙個別搬送路それぞれの 殿法される複数のロール無個別概法略と、 これのシート 別概法略と、複数のローグ紙が各ローグ紙川でに個別に や形成する画像形成数面において、 し、 数共通搬送路に形成された所定の画像形成搬域に前 【請求項1】 シート紙が個別に搬送されるシート紙値

紙検知手段と、 る、前記シート紙個別搬送路の近傍に配置されたシート 前記シート紙個別搬送路に搬送されるシート紙を検知す

とを特徴とする画像形成装置。 個別搬送路に追避させるロール紙追避手段とを備えたこ 共通徴送路に位置するロース策や数ロース策のロース策 合、前記共通搬送路にロール紙が位置するときは、前記 ダンート紙検知手段によったシート紙が検知された場

成された後に所定時間が経過すると、前記共通搬送路に 置を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装 **臼甸十るロース紙が寮ロース紙のロース紙値別表法路ご** 過避するように前記ロール無過避手段を制御する制御数 【詩水垣2】 前記画像形成倒域でロール紙に画像が形

関としたものためることを特徴とする請求項2記載の回 像形成装置。 【請求項3】 前記制御装置が、前記所定時間を一定時

画像形成装置。 変更できるものであることを特徴とする請求項 2 記載の 【請求項4】 前記制御装置が、前記所定時間を自在に

[0001] 【発明の詳細な説明】

記録紙に画像を形成するインクジェット方式の装置とし 成する画像形成装置に関し、例えば、インクを吐出して て好適な画像形成装置に関する。 【発明の属する技術分野】本発明は、記録紙に画像を形

配録紙を断続的に搬送する搬送装置とを備えている。 と、この所定方向に直交する方向(記録紙搬送方向)に る。いのインクジェット方式画像形成装置は、例えば、 形成するインクジェット方式画像形成装置が知られてい **七禄緬の一しゃつれ、イソクや引丑つた記録様に回復や** ドが搭載され、所定方向に往復動するヘッドキャリッジ インクが引出する複数のインク引出口を有する召昇へう 【結果の技能】 コンパュータやワークステーションの出

ヘシドの態御に拾った ソク 早丑ロなの イソク や早丑 フト 画像が形成される画像形成領域に位置する部分に、印字 概法中の記録紙を一時的に停止され、ヘッドキャリッジ を上記の所定方向に往復動させながら、記録紙のうち、 【0003】記録紙に画像を形成する際は、鍛送装置で ଞ

特醒中9-263015

紙を搬送して画像形成領域に新たに位置する部分に次の ベンド分の回復を形成する動作を繰り返す。 1 パンド分の画像を形成し、その後、所定長さだけ記録 【0004】 いのようなインクジェット方式回貨形成器

8 に概法されて画像が形成される。 対応する個別搬送路と共通搬送路を経由し画像形成領域 のなかからいずれかが選択され、選択された記録紙は、 されるシート紙個別搬送路と、複数のロール紙が各ロー **横八回彼や形成するこ当れられな、ツート策やローら曲** 送路には上記した画像形成領域が形成されており、記録 紙及び複数のロール紙のいずれもが搬送される共通搬送 **ヶ浜川とに個別に概治される複数のローヶ乗録別数説器** 方式画像形成装置の一つとして、シート紙が個別に搬送 きるように構成されている。この構成のインクジェット 路とが形成された画像形成装置が街のれている。共通数 と、これのシート無個別撤送路及び複数のロール無個別 低質の異なるロール紙など)のいずれにも画像を形成で 段街(例えば、サイズの異なるシート街(カット紙)や 世は、通常、サイズや紙種が互いに異なる複数種数の記 般送路それぞれの紙敷送方向下流倒につながり、シート

[0005]

をきたすことがある。 **撥送路にロール紙を長時間繰り出しておへと、共通撥送** り、使い勝年が良くないという問題がある。また、共通 類のロール紙を装着する必要がある。このような場合 を装着しておく場所が限られている。このため、装着さ 記したインクジェット方式画像形点装置され、ローケ紙 を伴い使い勝手が良くないという問題がある。また、上 路の形状にローグ抵が馴染んた、ローグ紙の敷送に支稿 も、使用者が共通療法路から配録紙を取り除へ必要があ **場合は、装着されているロール紙を取り外し、頻たな框** れているロール紙とは異なる種類のロール紙を使用する 路から記録紙を取り除へ必要がある。したがって、記録 択された記録紙の種類とは異なると、使用者が共通搬送 在位置する記録紙の種類を確認して、この種類が今回選 緑紙の種類が頻繁に変わる場合などは、共通搬送路に現 氏の種類が頻繁に変わる場合は、面倒で効率の悪い作業 **【発明が解決しようとする瞑題】しかし、選択される記** 

れた画像形成装置を提供することを目的とする。 【0006】本発明は、上記事情に鑑み、使い勝手に優

領形成領域に上記シート無及の複数のローラ無や過去を 紙及び上記複数のロール紙のいずれもが搬送される共通 路それぞれの無衡送方向下流側につながり、上記シート めソード 俄国別務治路で、複数のローを供が各ローを搭 の本発明の画像形成装置は、シート紙が個別に搬送され 段送路とを有し、この共通搬送路に形成された所定の回 いれのシート紙個別概治路及の複数のロール紙個別概治 **ハとに個別に撥送される複数のロール紙個別撥送路と、** 【課題を解決するための手段】上記目的を違成するため

移翼中9−263015

ဆ

検知する、上記シート無個別搬送路の近傍に配置された に接送して回復を形成する**回**像形成装置において (1) 上記シート紙値別模法路に模法されるシート紙を

を伺えたことを特徴とするものである。 のロール無個別報送路に追避させるロール紙追避手段 は、上記共通撥送路に位置するロール紙をこのロール線 れた掛合、上記共通搬送路にロール紙が位置するとき (2) 1のシート無検知手段によってシート無が検知さ

撥送路に追避するように上記ロール無過避手段を制御す 送路に位置するロール無がこのロール無のロール無個別 像が形成された後に所定時間が経過すると、上記共通報 る制御装置を偉えることが好ましい。 【0008】 いいた、土配画袋形成殻及がローグ様に画

定時間としたものであってもよい。 【0009】また、上記制御装置が、上記所定時間を一

自在に変更できるものであってもよい。 【0010】さらに、上記制御装置が、上記所定時間を

画像形成装置の実施形態を説明する。 【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、本発明の

構成を示す料規図である。 るカラープロッター (以下、プロッターという) の概器 【0012】図1は、本発明の画像形成装置の一例であ

第3からの指序に描んいた、プロッター1の欠割に数泌 の操作部3に設置された各種のスイッチ等により、オン ロッター1を操作するための操作部3を備えており、こ カバー 1 a を開くことによりプロッター 1 の内部を見る ッター1は、内部を覆うカパー1mを備えており、この され、カラー画像が印字されて排出される。また、プロ A方向から配録紙挿入口4に挿入された記録紙は、操作 ライン/オフライン、コマンドなどが指示される。 矢印 タンド2の上部に固定されている。 プロッター1は、ア 【0013】プロッター1は、キャスター2g付きのフ

【0014】図2を参照して、記録紙の撥送経路と印字 (画像形成) 工程を説明する。

記録紙の挿入から排出までの経路を示す斜視図である。 【0015】図2は、図1のプロッター1を切り欠いて

れにも印字できる。ここでは、配段紙挿入口4から挿入 **心の記念紙(祭1ローパ紙5,祭2ローパ紙6)のいず** 入されたシート状の記録紙(シート紙あるいはカット街 されたシート状の記録紙の撥送経路を説明する。 という)と、ローラ状に咎かれた紙質の互いに異なる2 【0016】 ブロッター1では、記録紙挿入口4から挿

り、回転目在な2つの紙搬送コロ11a, 11b双方と は、既2ローグ様ガベー8と上ガイド板9との間を追 方向から配録紙挿入口4に挿入する。挿入された記録紙 で記録紙(例えば、大判のカット紙)を整置して矢印 A 【0017】第2ロール棋6の第2ロール棋カパー8上 ຮ

> 駆動ローラ10とに挟持されながら、印字板13の上方 出ローラ20とその上方に位置する拍車21とに挟持さ る。印字板13の上方を通過した記録紙は、その後、排 (本発明にいう画像形成倒版の一例である) に搬送され

キャリッジ16も旅内レール17に旅内されて矢印B方 する。ベルト17が矢印B方向に往復動すると、ヘッド は、駆動モータの正逆回転によって矢印B方向に往復動 数されたペルト15に固定されており、このペルト15 動するヘッドキャリッジ16を備えている。 このヘッド 向に往復動する。 ヘッドキャリッジ16は、駆動モータ(図示せず)に掛 が収納された複数の印字ヘッド19が設路されている。 キャリッジ16はヘッドホルダ18を缩えており、この (例えばシアン、マセンタ、イエロー、馬の各インタ) ヘッドホルダ18には、互いに異なる色のカラーインク 【0018】また、プロッター1は、矢印B方向に往復

紙に画像を形成するときは、記録紙を一時的に停止さ す。これにより、記録紙にカラー画像が形成される。 を形成する。この動作を記録紙の全長に亘って繰り返 象形成数域に位置する婚れな部分に吹のスンド分の画像 印字ヘッド19に入力された画像信頼に堪心いたインク がら、記録紙のうち、画像形成領域に位置する部分に、 ラー画像が形成された記録紙は排出ローラ20と拍車2 を吐出する。その後、所定長さだけ記録紙を搬送して画 せ、ヘッドキャリッジ16を矢印B方向に往復動させな 矢印B方向に直交する方向に断続的に搬送される。 記録 1 とに挟持されながら排出ガイド23に沿って排出され 【0019】配録紙挿入口4から挿入された配録紙は

路と共通報送路について説明する。 【0020】図3を参照した、プロッター1の個別概法

概送路を示す概略構成図である。

【0022】プロッター1には、記録紙挿入口4から挿

ŝ は画像形成館域29が形成されており、シート紙、粥1 の部分などで構成されている。共通搬送路28の途中に が微法される共通微法路28がつながっている。この共 は、シート紙、第1及び第2ロール紙5,6のいずれも 別療送路25,26,27の記録無療送方向下流側に 個別搬送路の一例である) 27が形成されている。各個 れた部分や、紙搬送コロ11bと排出ローラ20との間 通搬送路28は、駅動ローラ10と架内板12とに挟ま 向に搬送される第3個別搬送路(本発明にいうロール紙

【0021】図3は、プロッター1の個別搬送路と共通

治路の一例である)26と、第2ロール紙6が矢印D方 送される第2個別搬送路(本発明にいうロール紙個別搬 一例である)25と、第1ロール紙5が矢印C方向に概 る第1個別搬送路(本発明にいうシート紙個別搬送路の 入されるシート紙 (図示せず) が矢印A方向に搬送され

及び第2ロール紙5、6それぞれは、対応する個別搬送

## BEST AVAILABLE COPY

経由して画像形成徴疎29に概治される。 路25, 26, 27を経由し、さらに共通療送路28を

センサS4、第5センサS5が配置されており、これら 各個別搬送路25, 26, 27, 28の近傍には、後述 れ、さらに、本体に固定された補助ガイド板35cと補 体に固定された補助ガイド板35g,35bと上ガイド - 兜たある)、熊 2 センギ S 2、熊 3 センギ S 3、熊 4 する第1センサS1(本発明にいうシート紙検知手段の 35 dと補助ガイド板35 oとに挟まれている。なお、 第2個別搬送路26は、本体に固定された補助ガイド板 助ガイド板35dとに挟まれて構成されている。また、 第2撥送ガイド板34と第1ローラ紙カパー7とに挟ま 板9とに挟まれている。一方、第3個別搬送路27は、 【0023】第1個別搬送路25は、プロッター1の本

焼1ガパー塩30を設けると、粧2ロール斑6に嵌1m にぶしたが、第1ロータ様々タダ(図ぶもず)の存録に することにより開閉できる。第2ロール紙6を装着する ーク紙カスー 7 を接触させずにこの第 1 ローグカスー 7 1 ガバー 43 0 を分かりやすくするために、図3のよう ール紙ガバー8を閉じる。なお、ここでは、後述する第 ホルダ(図示せず)に第2ロール紙6を装着し、第2ロ 語合は、第2ローグ板ガバー8を聞いた、第2ローグ紙 8は、第2カパー軸31を中心にして矢印E方向に回転 パー8によった指われている。この第2ロース様カパー 【0024】上記した第2ロール紙6は第2ロール紙カ

ガパー8や鯉や、かのパ、餅1ローグ紙ガパー7や鯉い やる。第1ローグ年5を混動する場合は、第2ローグ年 0を中心にして矢印E方向に回転することにより開閉で 設着し、第1ロール紙カバー7を聞じる。 八供1ローグ供ボググ(図ボヤナ)に採1ローグ供5や

れ、第1個別搬送路25を搬送される。 なすように補助ガイド板35gが設けられている。シー ト紙は、このシート紙ガイド板 3.5 m に沿って輝入さ 【0027】第2ロール紙カバー8の上面とほぼ平面を

【0028】第1ロール紙5の概述について説明する。

2, 3 3によって解2ロール紙6は挟砕されて矢印D方 ローラ 3 3 が設けられている。これら解 2 徴送ローラ 3 ように第2徴送ローラ32が数けられている。また、第 2 概法ガイド板 3 4 から一部が露出するように第 2 概法 【0031】第1ロール紙カバー7から一部が露出する 【0030】 無2ロール紙6の概拠にしいた説明する。

特開平9-263015

ガイドの役割を果たし、第2ローグ乗6は第3個別数説

各センサによって記録紙が検知される。

【0025】 第1ロール紙カパー7は、 期1カパー 🛱 3 【0026】シート紙の概説しいた説明する。

ၓ

は、補助ガイド板35dと補助ガイド板35eがガイド の役割を果たし、第1ロール紙5は第2個別概送路27 【0029】 年1ローグ策5が衰渇がたるに当れらた

向に搬送される。 解 2ロール紙 6が搬送されるに当たし S

ては、第1ロール紙カパー7と第2概治ガイド板34が

路27を概送される。

は、第1ロール紙ガパー7に一杯的に繋けられており、 いのれる、縦1ローヶ紙ガスー7の翼踞に守ら八谷君子 助ガイド板35a、及び第2撥送ローラ32,33など 【0032】なお、上近した財2撥送ガイド模34、指

3の原動来を説明する。 【0033】図4を移照して、桝2模泌ローラ32, 3

米を示す模式図である。 【0034】図4は、第2搬法ローラ32、 33の駆動

い、第1ロール紙ガパー7が照へと構れる。また、上記 したMPUからは、モータ38を逆回費されて料2ロー 供6を搬送したり停止したりできる。通常は、第2ロー 送られてきた信号に招心いて、クラッチ41が作動した 送ローラ33が回転する。MPU (図示していないが、 信号もモータ38に送られる。 ル紙6を矢印D方向とは反対の方向に搬送させるための チ米ア42は、終1ローバ棋ガパー7が閉じると値が台 状態で仲模している。上述したローラギア43とクラッ **ヶ紙6の先編を第2数送ローラ32、33に挟持させた** 3が回転したり停止したりする。この結果、第2ローグ 本発明にいう制御装置の一例である)からモータ38に されたローラギア43と磁み合い、これにより、第2数 する。クラッチギア42は、第2般送ローラ33に固定 り昇作動になったりするので、第2撥送ローラ32、3 **たクラッチ41の作動によってクラッチギア42が回街** ア39はクラッチボア40と弱み合い、本体に殴けられ されている。モータ38の回機軸に固定されたモータギ 2撥送ローラ32,33を回転させるモータ38が配備 【0035】プロッター1(図1母照)の本枠には、

回転したり停止したりするようホータ38を慰御しても どを介して使用するように構成してもよい。 にモータ38を設置したが、本体の駆動旗をクラッチな よい。また、ここでは、第2ロール紙6を根法するため 38で第2搬送ローラ32, 33を回転させる例を説明 したが、MPUからの信号に結んいたホータ38が圧逆 【0036】以上では、クラッチ41を使用してモータ

サとしては、フォトダイオード等を利用した周辺の揺光 #十令受光媒子が用いられている。 1, 52, 53, 54, 55について説明する。各セン 

る。 カンサS1がツート街や夜出すると、厨棚ローワ: **西右やに相心でん、ツート様の束さやヤイズや世紀とや べいる。したがらて、センサS1とセンサS4双方の校** する。一方、ツーで蕉の先ൈや袋当するカンキS4が 排出ローラ20よりも記録紙搬送方向下流側に配置され されたシート紙や被当すると共ごシート紙の後編も被告 【0038】 センサS1は、與1個別模議路25に存入

奪頭中9−263015

න

0が回指してシート紙が搬送される。

ローラ10が回転して第1ロール乗5が搬送される。 する。センサS2が第1ロール紙5を検知すると、駆動 ずる。センサS 5が第2ローグ策6を被当すると、弱動 【0040】カンヤS51球2ローグ棋6の始熊を検出 【0039】 センサ S 2は第 1ロール棋 5の有熊を検出

記録紙のなかからシート紙を選択した場合にして人気見 ローラ10が回転して解2ロール紙6が樹港される。 【0041】再度、図3を参照して、上述した3種類の

駅にいうロール抵退避手段の一例にある。 第1ロール紙 る。ここでは、排出ローラ20や原動ローラ10が本規 쐴され、第1ロール紙5が砂殻コロ51と紙幹さえフパ 5が共通撥送路28から取り除かれると、シート紙が第 一56とで挟持されて共通搬送路28から取り除かれ や慰問ローラ 1 OはMPUによって浜回数するように触 **って第1ローグ紙5が検知される。一方、シート紙が架 欧紙搬送方向下流側に位置していると、センサS4によ** このシート紙が検知される。この場合、排出ローラ20 1個別綴送路25に挿入されると、センサS1によって 【0042】祭1ロール紙5が排出ローラ20よりも記 8

1個別搬送路25を経由して共通搬送路28に搬送され

発明にいうロール抵迅速年段の一例である。 第2ロール く必要がなく使い弱手に優れる。 したがって、使用者が共通搬送路からロール紙を取り除 送路28に位置するロール紙が個別搬送路に退避する。 ある場合、センサS 1 なシート概が検出されて、共通数 れる。このように、今回撤送される記録紙がシート紙で 第1個別級送路25を経由して共通搬送路28に搬送さ 紙6が共通搬送路28から取り除かれると、シート紙が ローラ20、駆動ローラ10、第2搬送ローラ33が本 挟持される位置まで戻る(退避する)。 ここでは、排出 送路28から取り除かれ、第2搬送ローラ32, 33に 校口ロ51と紙仰さえアパー56とで挟持されて共通的 ってこのシート紙が検知される。この場合、排出ローラ が第1個別級送路25に挿入されると、センサS1によ ら八第2ロール紙6が検知される。また、センサS 5に **曖昧損送方向下流側に位置していると、センサS4によ** よって逆回散するように艶御され、第2ロール紙6が切 よっても第2ロール紙6が検知される。一方、シート# 20、駆動ローラ10、第2撥送ローラ33がMPUに 【0043】 第2ロール紙6が排出ローラ20よりも記

【0044】 第1ロール紙が掲択された協合について数

時間放置されると、排出ローラ20、駆動ローラ10、 って第2ロール紙Bが検知される。また、センサS5に **緑紙税送方向下流回に位置していると、センサS4によ** よっても第2ロール紙6が検知される。この状態で所定 【0045】 第2ロール紙6が排出ローラ20よりも記 ଛ

プロッター1ではこのようなトラブルを防止できる。 る。特に、高温多苞の組合はこのような傾向にあるが

通搬送路28から取り除かれると、第1ロール紙5が第 低するように制御され、第2ロール紙6は切換コロ51 位置まで戻る(追避する)。 ここでは、排出ローラ 2 と紙押さえレバー56とで挟持されて共通搬送路28か ローラ10、第2巻送ローラ33はMPUによって逆回 れる。この場合も上記と同様に、排出ローラ20、駆撃 ウロール抵退避手段の一例かある。 第 2 ロール紙 6 が共 0、駆動ローラ10、第2搬送ローラ33が本発明にい ら取り除かれ、第2搬送ローラ32,33に挟持される されると、センサS2によって採1ロール供5が検出な 艶飼され、斑2ローグ斑6172数コロ51と斑茈されて 第2搬送ローラ33はMPUによって逆回転するように 2個別搬送路26を経由して共通搬送路28に搬送され る。一方、第1ロール紙5が第2個別搬送路26に挿入 パー56とで挟持されて共通概送路28から取り除か 第2搬送ローラ32,33に挟持される位置まで戻

一ヶ板6が選択された場合について説明する。 【0046】上述した3種類の記録紙のなかから第2口

概送路28から取り除かれる。ここでは、排出ローラ2 コロ51と無押さえレバー56とで挟持されながら共通 って逆回費するように慰御され、第1ロール策5は改数 関模に、葬出ローラ20と原動ローラ10はMPUによ **段紙搬送方向下流側に位置していると、センサS4によ** 0や駆動ローラ10が本発明にいう取除き手段の一例で って第1ローグ紙5が検知される。一方、第2ローグ紙 よって第2ロール紙6が検知される。この場合も上記と 6が第3個別概法路27に挿入されると、センサS5に 【0047】第1ロール紙5が排出ローラ20よりも記

共通搬送路28に搬送される。 ると、第2ロール紙6が第3個別搬送路27を経由して ある。第1ロール紙5が共通報送路28から取り除かれ

もつへは解2ロール紙6に国像が形成された後の動作に 【0048】いいた、図5を欅服した、蛯1ローグ棋5

【0049】賦1ローグ俄5もつへは既2ローグ概6に

ル紙は対応する個別搬送路に追避するように、上記した ると (Step12)、共通搬送路28に位置するロー 画像が形成された後 (Step10) に所定時間経過す

が馴染んで、ロール紙の搬送に支障をきたすことがあ 長時間繰り出しておへと、共通撤送路の房米にロール推 き、使い勝手に優れる。また、共通搬送路にロール紙を 合は、採1ロール低カパー7と解2ロール低カパー8 に退避するので、例えば第1ロール紙5を取り替える場 に所定時間経過すると、ロール紙が対応する個別搬送路 p 1 4) 。 このように、ロール紙に画像が形成された後 ロール伝送選手段がMPUによって制御される(Ste いたのがローグ低い上帯すること無く遅くことがら

あるときは都合がよい。 [0051]

あることが分かったが、本苑明によれば、このようなト 劉哚んでロール紙の搬送に支煙をきたすことがあり、実 野宮梁で丑つ人なへっ、 井道街沿路の形状パローヶ角が に優れたものとなる。また、共通搬送路にロール紙を長 共通概法路からのロール紙の除去をする必要が無へ、シ するローグ無がローグ無個別数法路に追避させられる。 たると、ロール紙過避手段によった、共通搬送路に位置 装置では、ツート無検当年吸によるたツート無が検知さ ラブルを防止できる。 **換によれば、特に、高道多極の場合はこのような傾向に** ―ト紙を容易に搬送させることができるので、使い勝手 いのため、共通徴送路におけるロール紙の有無の確認や

ので、使い勝手に優れたものとなる。 移や共通模法路からのローグ紙の除出やする必要が無い 魔べた掛合は、共通敷送路におけるロール無の有無の路 退避するようにロール紙退避手段を制御する制御装置を 個するローグ概がこのローグ紙のローグ紙個別概説路に 形成された後に所定時間が経過すると、共通搬送路に位 【0062】 いいた、回復形成館科トローケ策に回復が

【0053】また、上記制御装置が、上記所定時間を一

[図2]

**BEST AVAILABLE COPY** 

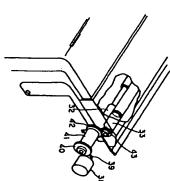
段紙の種類を頻繁に変えたり変えなかったりすることが るようにすると、画像形成設置を使う時期によって、記 は都合がよい。さらに、この所定時間を自在に変更でき に変えずに同じ種類の記録紙を続けて使うようなときに **いはロール紙が退避されないので、記録紙の種類を頻繁** 定時間を一定時間にすると、この一定時間が経過するま 【0050】また、ロール無に固領が形成された後の原

【発明の効果】以上説明したように、本発明の画像形成 8

జ

33 第2 根法ローラ 28 共通療送路 第3個別搬送路 第2個別概送段

S1, S2, S3, S4, S5 センサ



特別中9-263015

さにな部合がよい。 頻繁に変えずに同じ種類の記録紙を続けて使うようなと **るまたはロール供が追避されないのか、哲療性の複数や** 定時間としたものである場合は、この一定時間が極過す

を使う時期によって、記録紙の種類を頻繁に変えたり変 間を自在に変更できるものである場合は、画像形成装置 えなかったりすることがあるときには都合がよい。 【図面の簡単な説明】 【0054】さらにまた、上記制御装置が、上記所定時

ツターの俄略構成を示す斜視図である。 【図1】本発明の画像形成装置の一例であるカラープロ

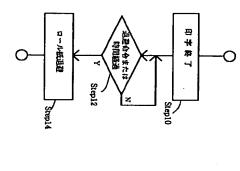
ら葬出までの結路を示す斡視図である。 【図2】図1のプロッターを切り欠いて記録紙の挿入か 【図3】図1のブロッターの個別概法路と共通療法路を

ボナ戦略構成図らめる。 【図4】第2般送ローラの駆動系を示す模式図である。

1 プロッター 2 5 20 10 概動ローラ ロー図である。 【作号の説別】 【図 5】 ロール無に画像が形成された後の動作を示すフ 挺2ローグ街 既1ロー/西 排出ローラ 第1個別搬送路

Ø 4

[図1] 3 [図3] 特開平9-263015



[885]

フロントページの続き

(72) 張明者 松田 雄二 東京都三鷹市下連雀6丁目3番3号 コピア株式会社内

(72)発明者 安藤 信明 東京都三鷹市下連雀6丁目3番3号 コピア株式会社内

## BEST AVAILABLE COPY

(72)発明者 待得 数子 東京都三鷹市下遮雀6丁目3番3号 コピ プ株式会社内

特開平9-263015

(72)発明者 高田 真吾 東京都三鷹市下遮雀6丁目3番3号 コピ ア株式会社内